交通安全 シグナルめーる

平成 21 年９月８日
第　３　号
高岡市立戸出東部小学校
富山県警察本部交通企画課

なぜ児童・幼児の自転車ヘルメットが必要なの？

○　過去の自転車乗用中の交通事故による死者（**全国値：全年層**）のうち、約 70%は頭部を損傷し（**児童では約 65%、幼児では約 75%**）、この被害軽減のためヘルメットが非常に有効であると考えられました。

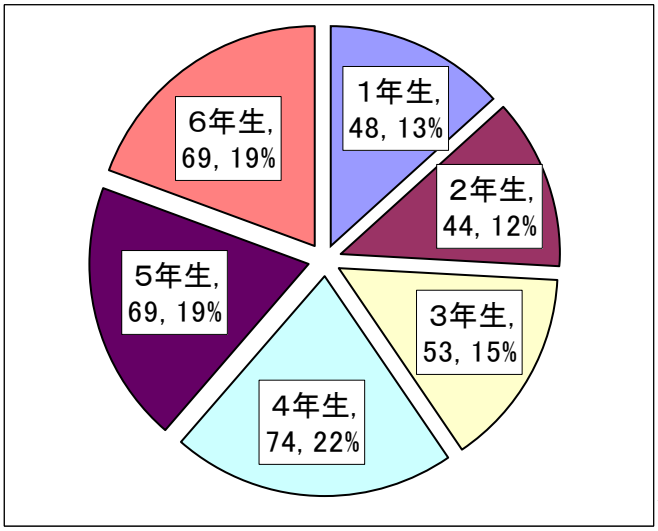
○　特に、転倒を予測し、自分自身で頭部を守ることが難しい児童や幼児（以下「児童等」）は、他の年齢層に比べヘルメットの着用効果がかなり期待できることから、平成 20 年６月１日の道路交通法改正により、13 歳未満の児童等を保護する責任のある者が、児童等が自転車に乗車させる場合に、ヘルメットの着用の努力義務が定められたのです。

安全確認

県内の小学生の自転車事故発生状況

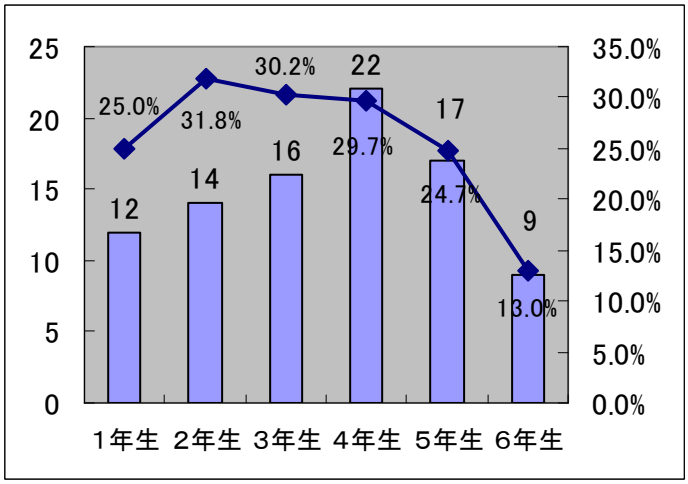
平成 16 年から本年６月末まで

負傷者数と学年別割合



○　１年生の 48 件には死亡事故１件を含む

頭部の負傷者数とその割合（学年別）



☆　**低学年、中学年は自転車事故により頭部を負傷する割合が高い**

被害軽減のため、自転車乗車時はヘルメットを着用させましょう。

県内の交通事故発生状況（本年４月～７月末現在：概数）

	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	小学生全体	県内全体
負傷者数	５	１２	９	７	９	９	５１	2,047
死者数	０	０	０	０	０	０	０	１１

参考（昨年４月～本年３月末現在）

	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	小学生全体	県内全体
負傷者数	３０	２６	２９	２８	２９	１４	１５６	7,019
死者数	０	０	０	０	０	０	０	６０